

広高体連発第23号
令和2年4月14日

広島県高等学校体育連盟各専門部長 様

広島県高等学校体育連盟
会長 隠澤浩雄
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症に関する対応について（通知）

各専門部におかれましては、3月2日からの一斉臨時休校措置等による、高体連主催大会の実施について、ご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

さて、春季休業が終了し、新学期から部活動を再開された学校もありますが、4月14日付け県教委通知により、再度全ての県立学校が臨時休業となり、4月16日から5月6日までの臨時休業中の部活動については、実施しないことが示されました。

つきましては、本連盟からの3月31日付け通知により、4月中の高体連主催大会の中止・延期について御対応いただいているところ、誠に恐縮ですが、次にお示した県高体連の県総体等開催の考え方に基づき、再度5月以降の大会等の実施についてご検討いただき、報告いただきますようお願いいたします。

また、各専門部において大会等の実施検討をする場合等においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、関係者が電子データにより資料等を確認し承諾を得るなど、極力移動や会合を避ける工夫をしてください。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る状況が日々変化しているため、今後、お示した考え方の変更を行う場合があることをご了知ください。

記

1 県総合体育大会について

(1) 県総体開催の可否については、生徒及び関係者全員の安全・安心を最優先し、県教委との協議のうえ判断する。

また、県総体はインターハイ予選であると同時に、3年生最後の大会であることも踏まえ、県総体の開催については、令和2年度インターハイの開催の有無とは切り離して考えることとする。（全国定通総体ー広島県定通総体も同様。）

(2) 県総体の開催時期については、広島市内の臨時休校からの学校再開(5/7)後、少なくとも1ヵ月間程度の準備、練習等の期間が必要であると考えられるため、6月6日(土)以降の日程で設定すること。ただし、再度休業の継続措置が実施された場合は県総体の中止を検討する。

2 地区総体の開催について

地区総体開催については、生徒及び関係者全員の安全・安心を最優先し、専門部が6月6日(土)以降の日程で開催の有無や実施方法等を検討し、県高体連事務局と協議のうえ判断し、中止した場合は県総体出場校等の決定について、客観的事実に基づいた適切な選定をすること。

以上